心に届く 信心真話

## 典楽の研修で信心磨きを

# 両方の願いが調う道を

**丸** 山博子さん（55）は、金光教の祭典音楽である典楽（てんがく）の楽人として琴のご用を務め、また、在住する関東地方では、琴の指導員として活躍しています。

典楽のすそ野が広がることを願って熱心に指導に当たってきた博子さんは、年に一度、金光教本部（岡山県浅口市）で開かれる指導員研修会へ参加することを、毎年楽しみにしています。全国各地の指導員に会えるのも楽しみの一つですが、技術を高めるにも重要な研修で、これまで欠かさず参加してきました。

ところが、今年の研修会が、図らずも、息子の真行さん（24）の教員採用試験日と重なってしまったのです。

真行さんはこれまで二度、地元公立高校の採用試験に挑戦してきましたが、採用枠が少ないこともあり、残念な結果に終わっていました。それだけに、「今年こそ」と意気込んで一年間頑張ってきた息子のことを思うと、今回ばかりは研修会への参加を見合わせて、母親として、試験当日は笑顔で息子を送り出してやりたいという思いとの間で、どうすべきか迷いました。

**ど** ちらを優先するか決心できずにいた博子さんは、教会でそのことをお届けしました。すると、教会の先生は、「両方の願いが調う道を願いましょう」と言ったのです。

その言葉に博子さんは、「そんなことができるのかしら」と驚きながらも、それぞれが立ち行くよう、お繰り合わせを願いました。

その日、博子さんは、夫の薫さんにどうしたらいいのか、迷っていることを話しました。「皆さんにお琴を教えていく上で、研修会に参加して技術を高めることは、とても大切だけど、真行の試験も人生を決める重要なものだし、どうしたらいいかしら」。

**す** ると、薫さんは、「おまえと結婚して初めて、金光教のことを知ったが、おまえの信心に基づいた生き方に支えられることは多い。真行がこうして元気に成長したのも、おまえの信心の賜物だと思っている。真行のことは大丈夫だから、研修会に参加したらいい」と応えてくれたのです。

その言葉を、博子さんは涙が出るほどうれしく感じました。博子さんは、神様に一切をお任せして、研修会への参加を決めました。

研修会に出発する日、駅まで見送ってくれたのは、真行さんでした。翌日に試験を控えた真行さんは、その足で教会に参拝し、試験と母親の研修会の無事をお届けしました。そこには、「子どものことは親が頼み、親のことは子が頼み」という親子頼み合いの信心がありました。

**翌** 朝、寝台列車で金光に到着した博子さんは、本部広前で年老いた母親の手を引く親子連れと出会いました。手を取り合って参拝するその姿を見て、「家族中親切にし合い、信心をすれば、心がそろうようになり、みなおかげを受けられる。親子でも、心が一つにならなければおかげにならない」という教祖様のみ教えとともに、快く自分を送り出してくれた夫と息子への感謝の気持ちが込み上げてきたのです。

「典楽の技術とともに、信心も磨いてきてください」。研修会への参加に際して、教会の先生から掛けられた言葉を、博子さんはあらためてかみしめました。

ちなみに、真行さんは見事、試験に合格しました。

※このお話は実話をもとに執筆されたものですが、登場人物は仮名を原則としています

---

**INFORMATION**

## こんこう文化講座

その時々の社会が抱える諸問題をテーマに、各分野の専門家に語って頂く公開講座です。

●**日　時**　8月30日（土）午後2時30分～4時30分
●**テーマ**　死刑制度について考える―裁判員制度に関わって
●**講　師**　森達也氏（映画監督・作家）
●**会　場**　文京シビック26階「スカイホール」（東京都文京区）
●**入場料**　無料
●**問い合わせ先**　金光教東京センター
TEL 03－3818－6321
Eメール　tokyo@konkokyo.or.jp
※ホームページ　http://www.konkokyo.or.jp/center/tokyo/

「金光新聞編集室」のEメールアドレス　kses@konkokyo.or.jp

**次号の予告**　8月24日号

特集（2、3面）

### 金光北ウイングに夢託す

7月8日、金光北ウイングの起工式が行われ、現在工事が進められている。研修、宿泊、休憩機能を有した新たな施設の誕生から広がる信心の取り組みとは。

---

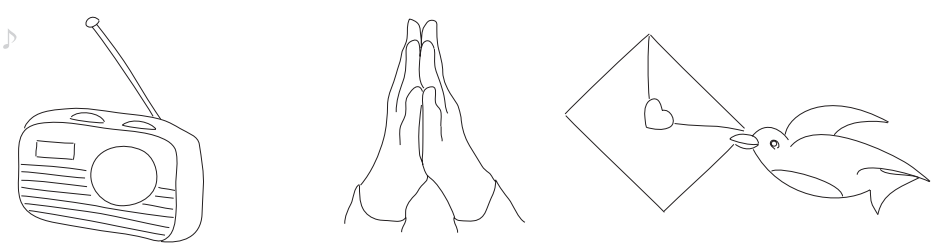
いつも金光新聞をご愛読いただきありがとうございます

**ご購読についてのお願い**

9月からの新規購読・部数や住所の変更・購読中止などは、8月25日まで受け付けます。それ以降は、10月からの変更になります。

「金光新聞」購読のご契約は、自動的に継続しています。購読料が切れましても購読中止にはなりませんので、部数の変更や中止の場合は必ずご連絡ください。

**お申し込み・お問い合わせは　金光教徒社　へ**



## ラジオで　「ありがとう」を　伝えませんか？

ご両親、ご主人や奥様、子どもたち、物、あるいは神様に宛て、「ありがとう」の手紙をお書きください。
数人の作品を選び、来年7月第1週に放送します。

●対象＝信徒（※金光教教師を除く）
●字数＝400字程度
●締切＝今年9月17日（水）必着
●名前・在籍教会を明記の上、
〒550-0002　大阪市西区江戸堀1-10-31　金光教放送センター
hoso@konkokyo.or.jp　まで
●問い合わせ＝金光教本部布教部（0865-42-6453）

---

あいよかけよの生活運動

**願い**

わが心の神にめざめ
祈り、対話、行動をもって
神を現す生活をすすめ
共に助かる世界を生みだそう